

平成24年度

教育目標：自ら学ぶ、豊かな人間性とじょうぶなからだをもった子ども

西二小だより

H25.3.19(火)

第36号 文責 校長 安藤 勇司

土手の草が伸び出し、学校裏の紅梅の花がほころび始めました。卒業・進級に合わせて一気に春が近づいた感じです。平成24年度の学校生活も、残り2日となってきました。その中に修了式・卒業式がありますので、立派な式になるようにしていきたいと考えています。まだ2日ありますが、保護者の皆様には1年間ご理解とご協力をいただき、そういう中で教育活動を行うことができましたこと、心より感謝申し上げます。有り難うございました。



プール改修工事,着々と 2月の授業参観でお話しましたが、現在プールの改修工事をしています。5月にはリニューアルしたきれいなプールになるはずです。放射線量の数値も下がるものと期待しています。

小・中連携の出前講座実施 ここ数年、西袋中学校の先生に来ていただき、英語の授業をやってもらっています。ねらいは、中学校に進むにあたって少しでも不安を取り除くこと、本格的に始まる英語の授業に興味を持ってもらうことなどです。中学校の先生に、中学校にいる自分の兄・姉のことを英語で説明している姿を見ると、2年前から始まった「外国語活動」の授業の成果かなと思います。



小さな命が開花 写真の花は「桜」です。1月の強風で枝が折れ、校庭に落ちていたものです。それを用務員の村越さんが拾ってきて、職員玄関のバケツに入れて置きました。全校朝の会で話しましたが、二つのことを感じました。一つは、命に対する優しさです。私なら折れた枝が邪魔だと思い、隅のほうにポイと捨てるでしょう。(捨てられた枝は、そのまま枯れてしまったでしょう。) もう一つは、たくましい生命力です。根もないのに、折れた枝から真冬の冷たい水を吸い続け、見事開花したのです。

表彰関係

第28回ユネスコ平和作文 優良賞 5年 佐久間 壱成

句集「桔槔」掲載優秀作品

3年, 有我 桜蘭「さようなら 冬の思い出 とけてゆく」

6年, 根本 悠司「登校中 寒い風ふき 耳赤い」

6年, 佐浦 宏紀「火を囲み 負けじとこがらし 強くなる」



暗唱 名人 3年 石川 和人 1年 黒津 聖純

上級 3年 小針 大地 3年 古川 采実 1年 樽川 壮

中級 1年 樽川 彩菜 1年 樽川 朱音 1年 佐藤 湧 1年 石川 知輝